

2010年6月29日

東京外国為替市場委員会 第134回会合 議事録

開催日時 2010年6月24日 13:00～14:00
場 所 日本銀行本店 新館9階中会議室
議 長 星野 昭
副 議 長 中野 北斗
副 議 長 梨本 忠彦
書 記 宮田 慶一
出席委員 20名

I. 委員の再任、退任および新任について

松尾委員より、今回の委員会をもって退任したいとの意思が示され、了承されました。

星野議長より、松尾委員の後任として、以下の方から委員への立候補届けがあったとの報告があり、立候補者による所信表明、推薦人による推薦を経て委員による投票が行われ、下記候補者は全会一致で新委員に選任されました。

井上 英明（三菱UFJ信託銀行）

また、星野議長より、梨本副議長の委員としての任期（2年）が満了することが報告されました。梨本副議長から、委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

II. 今後の本委員会におけるテーマについて

葛原準委員より、各委員から寄せられた本委員会の更なる活性化に向けたアイデアが紹介され、各論点について、各小委員で対応方針を議論することとなりました。

なお、紹介されたアイデアのうち、大きなテーマとなり得る「対円NDFの慣行整備」については、新たなプロジェクト小委員会を設立し、検討を進めることとなりました。

また、「eFX・アルゴトレーディングにかかる現状認識と影響分析」等については、Eコマース小委員会で検討を進めることとなりました。なお、Eコマース小委員会は、重要性が高まっていることから、その位置付けをプロジェクト小委員会から常設小委員会に変更することとなりました。

III. 小委員会報告

1. 教育小委員会

河野教育小委員長より、きたる 8 月 30 日にフォレックスセミナーを開催し、講師として EBS ディーリングリソースジャパンの大木一寛氏（本委員会委員）、みずほコーポレート銀行の唐鎌大輔氏を招聘する予定である旨報告がありました。

なお、前回本委員会で議論となった日本フォレックスクラブとの連携については、次回セミナーに向け、今後、本格的な話し合いを行っていくとのことでした。

2. E コマース小委員会

高木 E コマース小委員長より、6 月 16 日に小委員会を開催した旨報告がありました。

今後の運営方法については、同小委員会が取り扱う議題が多岐に亘ることから、本委員会委員や業界関係者を招いて論点整理を行っていく旨報告がありました。また、今後の議題としては、電子ブローキングシステムの利用状況や為替証拠金取引の動向などにつき、調査を進めていくとの方針が示されました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (6月24日現在)

<委員>

議長	○星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○宮田 慶一	(日本銀行)
運営小委員長	○松尾 勝	(三菱 UFJ 信託銀行)
	○井上 英明	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	大木 一寛	(EBS デイリングリソースジャパン)
教育小委員長	○河野 文彦	(野村証券)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(住友信託銀行)
Code of Conduct 小委員長	○好川 弘一	(BNP パリバ銀行)
決済小委員長	○小松 淳	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	○高木 晴久	(三井住友銀行)
	○北倉 克憲	(中央三井信託銀行)
	○小田川 正知	(ゴールドマン・サックス証券)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウフレックス上田ハロー)
	○大西 知生	(ドイツ証券)
	広田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)

<準委員>

	野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○山本 嘉樹	(みずほコーポレート銀行)
	○葛原 圭	(三菱東京 UFJ 銀行)
	○渡邊 明彦	(日本銀行)

<オブザーバー>

	○藤井 大輔	(財務省)
--	--------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。